

溪間工（治山構造物工事）検査指摘事項例

1 書類検査指摘事項 ※工事全般の記載事項を除く

（１）施工体制関係

（２）施工計画書関係

- コンクリート打設計画図を、県森林土木共通仕様書様式例に基づき提出すること
- 治山ダムの施工中の出来形管理は、県森林土木共通仕様書の出来形測定結果様式により作成し添付すること
- コンクリートポンプ車を使用する際は、コンクリートポンプ車作業計画を定めること

（３）施工管理（出来形・品質）関係

- コンクリート養生中の温度管理記録を適切に残すこと（データログ使用を推奨）
- 寒中・暑中コンクリートの施工を施工計画書どおり適切に行うこと
- 寒中コンクリートは養生期間後２日間０℃以上を確保すること（計画書にも要記載）
- コンクリートの傾斜部の気泡を抜くためにピカコン等を使用すること（推奨）
- 地耐力確認試験や品質試験結果を整理すること
- ICT 土工（作業土工）の出来形管理は、監督員の確認を得てから次工程に進むこと

（４）写真管理関係

（５）材料関係

- 残存型枠の品質証明書を添付すること（納入時の製品タグと突合）

（６）安全管理関係

- フルハーネス等の点検表を整備すること

（７）産廃・再生資源関係

- 伐採材の搬出も過積載防止対策に取り組むこと

（８）その他全般

2 現地検査指摘事項

- コンクリートの気泡・豆板・セパ穴未処理を補修すること
- コンクリートのクラックを経過観察し、状況に応じた補修を行うこと
- 間詰コンクリートと地山の隙間を埋めること
- 躯体に付いた型枠木片や釘の撤去、ビス固定穴の補修を行うこと
- 止水板の中心が鉛直継目の位置にくるように設置すること
- 型枠の固定が不十分で打設リフトの下部が膨らんでおり注意すること
- 吸出防止材の不足や浮き箇所を是正すること
- 法面の洗掘や浸食箇所を補修すること
- 構造物周辺の沈下や空隙を補修すること
- かご枠中詰石の不足や空隙を補充すること
- かご枠の組立用の番線を除去すること
- 水抜き孔や排水施設の閉塞箇所を清掃すること
- 鋼製材の錆や腐食箇所は補修し保護処理すること
- 植生マットの剥離や隙間、発芽不良を補修すること
- 地山の落石や崩壊危険箇所を定期的に点検すること